

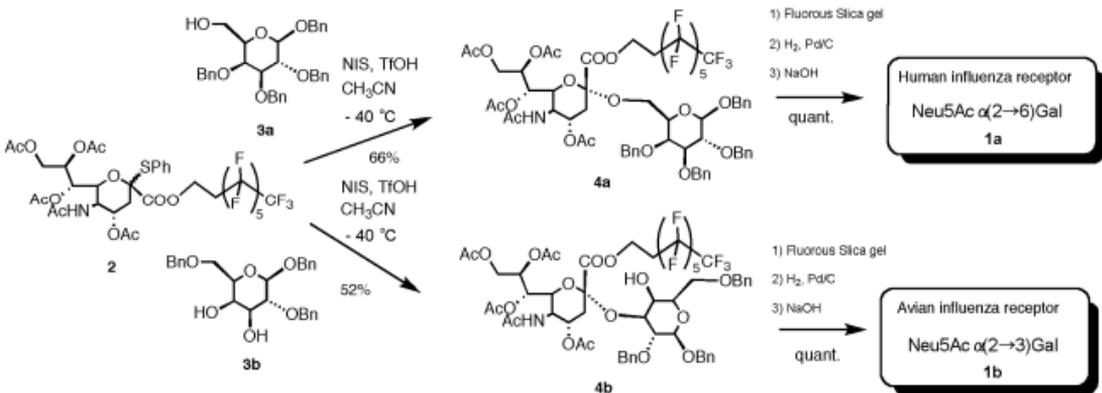
28AB-am001

フルオラス・タグを利用したシアル酸誘導体の合成

○池田 潔¹, 松本 莉穂¹, 谷本 崇光¹, 年光 優¹, 川端 亜美¹, 寺岡 文照¹, 大坪 忠宗¹ (¹広島国際大薬)

【目的】 フッ素の特性を生かした環境に優しいグリーンケミストリーとしてフルオラス法を利用した有機合成反応や分離技術の研究が進展している¹⁾。今回、我々はヒト型インフルエンザウイルス受容体であるシアリル $\alpha(2\rightarrow6)$ ガラクトース誘導体 (**1a**) とトリ型受容体であるシアリル $\alpha(2\rightarrow3)$ ガラクトース誘導体 (**1b**) の合成をフルオラス逆相シリカゲルと組み合わせて行ったので報告する。

【方法】 フルオラス・タグを持つ新規シアル酸誘導体 (**2**) と D-ガラクトース誘導体 (**3a,b**) とのシアリル化反応により、グリコシド体 (**4a,b**) を経て Neu5Ac $\alpha(2\rightarrow6)$ Gal 誘導体 (**1a**) (66%) と Neu5Ac $\alpha(2\rightarrow3)$ Gal 誘導体 (**1b**) (52%) の合成に成功した。



【結果】 今後、フルオラス・タグ基の導入効率およびグリコシド化の収率の向上と各種糖鎖合成への応用を検討する。

1) K. Ikeda, H. Mori, and M. Sato, *Chem. Commun.*, **2006**, 3093.